



ABOUT

国立国会図書館は、分野を問わず、我が国の多様なコンテンツに関するメタデータを集約・提供し、コンテンツへのナビゲーションと利活用の促進を目指して、国の分野横断統合ポータル「ジャパンサーチ（仮称）」を構築することを目指しています。

本説明会では、ジャパンサーチ（仮称）と連携を希望される様々な機関や、関心をお寄せ下さる関係者の方々に向けて、ジャパンサーチ（仮称）構想の現在の状況及び今後の方向性について報告します。併せて、ジャパンサーチ（仮称）への期待について、データ提供側と利活用側、両面の有識者の方々による講演・ディスカッションを行います。

PICK UP!

- 講演「ジャパンサーチ（仮称）がもたらすさまざまな効用」

慶應義塾大学総合政策学部教授 國領 二郎

- パネルディスカッション「ジャパンサーチ（仮称）の実現で何ができるか」

モデレーター：東京国立博物館芸企画部博物館情報課長 田良島 哲

パネリスト：慶應義塾大学総合政策学部教授 國領 二郎

神奈川県立近代美術館館長 水沢 勉

国立科学博物館標本資料センター副コレクションディレクター 細矢 剛

青空文庫 大久保ゆう

ジャパンサーチ 可能性 |



広重、江戸近郊八景之内 行徳帰帆, <https://doi.org/10.11501/1309713>

ジャパンサーチ（仮称）

phase.0

フェーズゼロ

分野横断統合ポータル 構築に向けて

2018年5月16日(水) 15:00～17:15（14:30開場）

会場：国立国会図書館東京本館 新館講堂

〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1 東京メトロ永田町駅 2番出口徒歩5分

国立国会図書館関西館 第一研修室（テレビ会議中継）

〒619-0287 京都府相楽郡精華町精華台8-1-3

※テレビ会議中継により、東京本館での説明会の様子を関西館でご覧いただけます。
関西館側からも質疑をお受けいたします。

申込方法

国立国会図書館ホームページの専用フォームからお申込ください。

URL：<http://www.ndl.go.jp/jp/event/events/201805jps.html>

申込締切

2018年5月15日（火）17:00まで（先着順。定員に達し次第締め切ります。）

お問い合わせ

国立国会図書館電子情報部電子情報企画課連携協力係

電話：03-3506-5239（直通） E-Mail：devent@ndl.go.jp

参加無料
定員300名(東京本館)
60名(関西館)

主催：国立国会図書館、内閣府知的財産戦略推進事務局
後援：文化庁

プログラム

開会挨拶

国立国会図書館電子情報部長 小寺 正一

<第一部> 分野横断統合ポータル「ジャパンサーチ（仮称）」について-----

デジタルアーカイブの推進に係る国の動きについて

内閣府知的財産戦略推進事務局参事官 岸 本 織 江

文化庁におけるデジタルアーカイブの推進について

文化庁長官官房審議官 永 山 裕 二

国の分野横断統合ポータル「ジャパンサーチ（仮称）」との連携について

国立国会図書館電子情報部副部長 木 藤 淳 子

ジャパンサーチ（仮称）プロトタイプイメージ紹介（デモ）

国立国会図書館電子情報部電子情報企画課職員

質疑応答

<第二部> ジャパンサーチ（仮称）への期待-----

講演「ジャパンサーチ（仮称）がもたらすさまざまな効用」

慶應義塾大学総合政策学部教授 國 領 二 郎

パネルディスカッション「ジャパンサーチ（仮称）の実現で何ができるか」

モデレーター：東京国立博物館学芸企画部博物館情報課長 田 良 島 哲

パネリスト：慶應義塾大学総合政策学部教授 國 領 二 郎

神奈川県立近代美術館館長 水 沢 勉

国立科学博物館標本資料センター副コレクションディレクター 細 矢 剛

青空文庫 大 久 保 ゆ う

閉会挨拶

内閣府知的財産戦略推進事務局参事官 岸 本 織 江

登壇者プロフィール

慶應義塾大学総合政策学部教授 **國領 二郎（こくりょう じろう）**

1982年東京大学経済学部卒。日本電信電話公社入社。1992年ハーバード・ビジネス・スクール経営学博士。1993年慶應義塾大学大学院経営管理研究科助教授。2000年同教授。2003年同大学環境情報学部教授などを経て、2009年総合政策学部長。2005年から2009年までSFC研究所長も務める。2013年より慶應義塾常任理事に就任し、現在に至る。
主な著書に『オープン・アーキテクチャ戦略』（ダイヤモンド社、1999）、『ソーシャルな資本主義』（日本経済新聞社、2013年）がある。

東京国立博物館学芸企画部博物館情報課長 **田良島 哲（たらしま さとし）**

京都府教育委員会文化財保護課、文化庁美術学芸課等を経て、2015年4月から現職。インターネットの普及以前から歴史資料情報のデジタル化に関心を持ち、東京国立博物館で博物館資料のデジタル情報の管理と公開に取り組むとともに、文科省「デジタルミュージアムに関する研究会」構成員（2006年）、内閣府知的財産戦略推進事務局「デジタルアーカイブの連携に関する実務者協議会」（2015-17年）構成員などを務める。

神奈川県立近代美術館館長 **水沢 勉（みずさわ つとむ）**

1952年横浜市生まれ。1976年慶應義塾大学美学美術史学科卒。1978年慶應義塾大学大学院修士課程修了後、神奈川県立近代美術館学芸員として鎌倉館に勤務。2008年横浜トリエンナーレ2008「タイムクレヴァス」の総合ディレクター。2011年より神奈川県立近代美術館館長。専門は、ドイツ語圏の世紀末美術から近現代美術、日本の近現代美術とその国外との交流史など。1951年開館の神奈川県立近代美術館の鎌倉館の閉館にあたり、半世紀以上の活動をどのようにアーカイブするかについてデジタル化も視野に入れて取り組んでいる。
著作に『この終わりのときにも 世紀末美術と現代』（思潮社、1989年）、『点在する中心』（共著、春秋社、1995年）、『美術館は生まれ変わる』（共著、鹿島出版会、2000年、新版2008年）、『モダニズム／ナショナリズム』（共著、せりか書房、2003年）など。

国立科学博物館標本資料センター副コレクションディレクター **細矢 剛（ほそや つよし）**

1963年生まれ、筑波大学生物学類、同大学院生物科学研究科、製薬会社の研究員を経て2004年より、国立科学博物館植物研究部。現在菌類・藻類研究グループ長 兼 標本資料センター副センター長。専門は菌類（カビ・きのこ・酵母）の分類・生態学的研究。自然史標本データの世界的な収集と公開を行っているGBIF（地球規模生物多様性情報機構）の日本ノードマネージャーとして、標本データのオープン化と利用を推進。現在90以上の機関からのデータ提供を受け、国立科学博物館が運営するサイエンスミュージアムネットで国内向けの公開を進めるとともに、GBIFにデータを提供している。

青空文庫 **大久保 ゆう（おおくぼ ゆう）**

1982年生まれ。初期より民間のデジタルアーカイブである青空文庫にボランティアとしてかかわる。高校生・大学生・大学院生と育つなかでデジタルアーカイブの実務と活用・振興を現場で試み続け、現在はフリーランス翻訳家。研究者（大久保友博）としての専攻は、翻訳論・翻訳文化史・創作環境論。京都大学大学院 人間・環境学研究科博士後期課程修了、博士（人間・環境学）。京都橘大学助教。そのほか、本の未来基金運営委員、デジタルアーカイブ学会評議員。